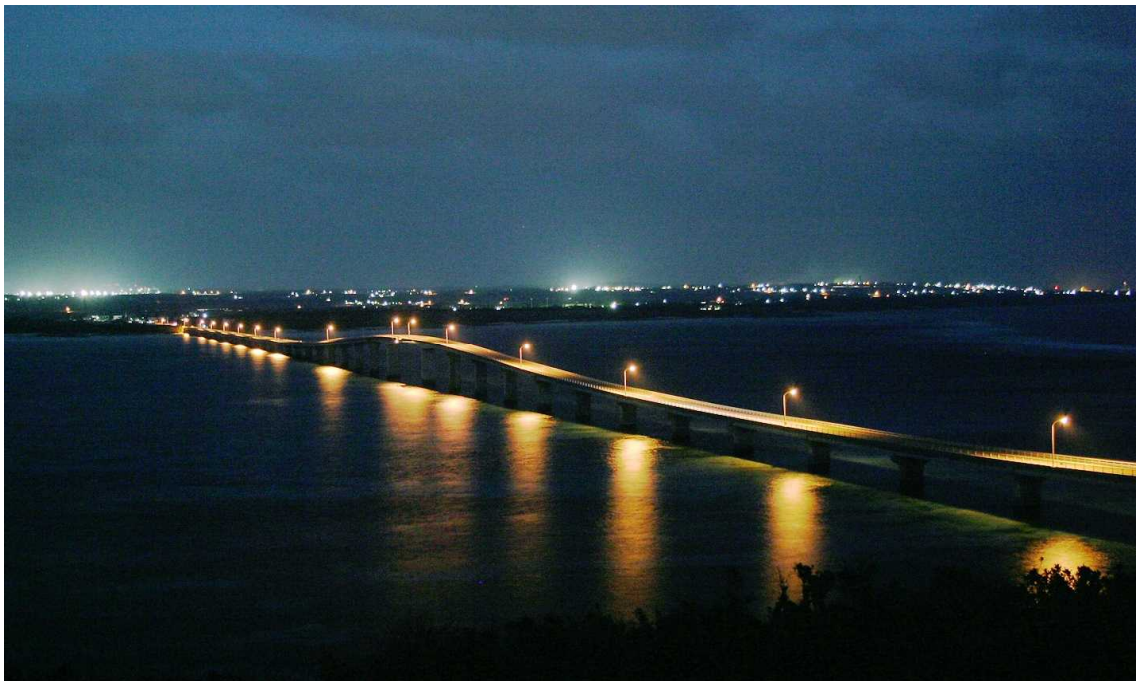


# 資料編

- I 総務企画班業務
- II 地域保健班業務
- III 健康推進班業務
- IV 生活環境班業務
- V 学生実習
- VI 受入研修
- VII 研修・講習



# I 総務企画班業務

## 1 管内人口の状況

### (1) 市町村別人口の推移

年次	管内総数	宮古島市	平良市	城辺町	下地町	上野村	伊良部町	多良間村
昭和25年	74,668	—	30,897	16,514	6,427	5,547	11,483	3,800
昭和30年	75,392	—	32,716	16,605	6,177	5,783	10,815	3,296
昭和35年	72,339	—	32,506	15,433	5,703	5,005	10,796	2,896
昭和40年	69,825	—	32,591	14,559	5,206	4,603	10,263	2,603
昭和45年	60,953	—	29,721	12,053	4,022	3,739	9,132	2,286
昭和50年	57,762	—	29,301	10,883	3,116	3,493	9,164	1,805
昭和55年	60,464	—	32,924	10,203	3,017	3,500	9,153	1,667
昭和60年	60,167	—	33,406	9,671	2,921	3,502	9,035	1,632
平成2年	57,458	—	33,124	8,564	2,892	3,227	8,155	1,496
平成7年	56,248	—	33,387	7,896	3,045	3,179	7,424	1,317
平成12年	55,805	—	33,726	7,649	3,206	3,183	6,709	1,332
平成17年	55,200	—	34,190	6,879	3,225	3,274	6,236	1,396
平成18年	54,442	53,127	—	—	—	—	—	1,315
平成19年	54,021	52,734	—	—	—	—	—	1,287
平成20年	53,626	52,352	—	—	—	—	—	1,274
平成21年	53,478	52,222	—	—	—	—	—	1,256
平成22年	53,452	52,203	—	—	—	—	—	1,249
平成23年	53,209	52,024	—	—	—	—	—	1,185
平成24年	53,122	51,959	—	—	—	—	—	1,163
平成25年	53,036	51,885	—	—	—	—	—	1,151
平成26年	52,732	51,614	—	—	—	—	—	1,118
平成27年	52,441	51,356	—	—	—	—	—	1,085
平成28年	52,164	50,997	—	—	—	—	—	1,167
平成29年	52,343	51,180	—	—	—	—	—	1,163

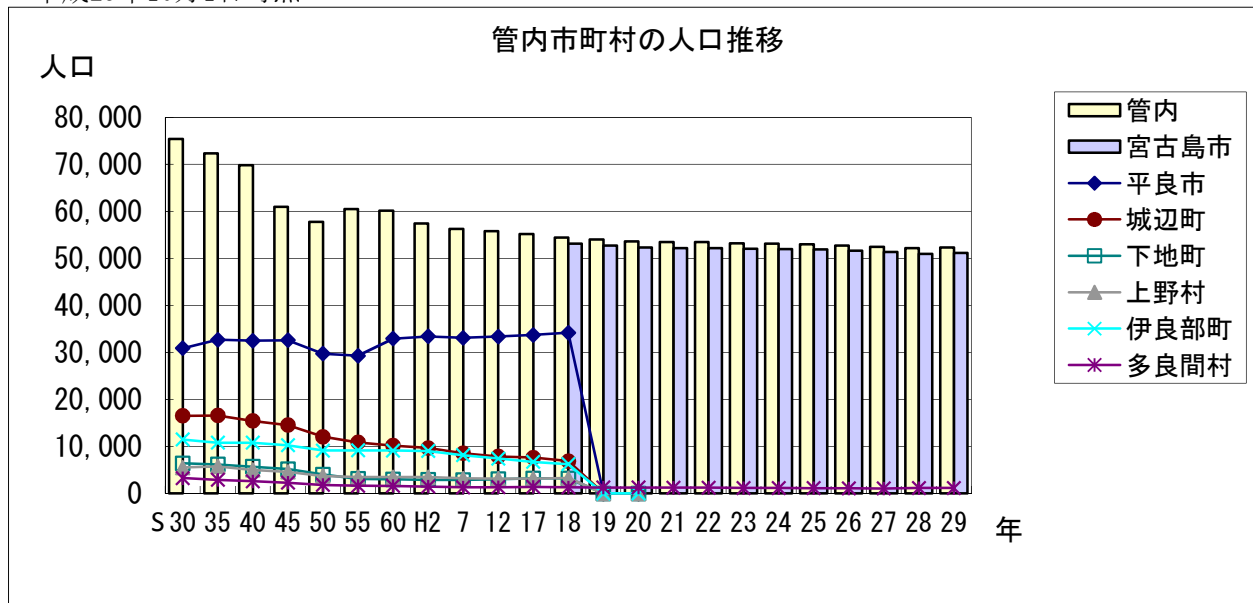
資料：沖縄県企画部統計課HP「沖縄県統計資料WEBサイト」各年10月1日時点の人口（平成17年は9月1日時点）

### (2) 市村別人口の構成

各項目	面積 (Km <sup>2</sup> ) A	人 口			性比 B/C×100	人口密度 (人/Km <sup>2</sup> ) (B+C)/A	世帯数 D	1世帯 当たりの人口 (B+C)/D
		男 B	女 C	総数 B+C				
管内	226.20	25,806	26,537	52,343	97.25	231	23,247	2.25
宮古島市	204.20	25,177	26,003	51,180	96.8	251	22,778	2.25
多良間村	22.00	629	534	1,163	117.8	53	469	2.48

※面積は国土交通省国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」平成29年10月1日時点

※人口及び世帯数は沖縄県企画部統計課ホームページ「沖縄県統計資料WEBサイト」の「推計人口」平成29年10月1日時点



## 2 管内人口動態

### (1) 人口動態統計について

#### ア 調査の目的と沿革

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。

人口動態調査は、明治31年「戸籍法」が制定され登録制度が法体系的にも整備されたのを機会に、同32年から人口動態調査票は1件につき1枚の個別票を作成し、中央集計をする近代的な人口動態統計制度が確立された。その後、昭和22年6月に「統計法」に基づき「指定統計第5号」として指定され、その事務の所管は同年9月1日に総理庁から厚生省に移管された。さらに、平成21年4月からは、新「統計法」（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計調査となっている。

#### イ 調査の対象、客体及び抽出方法

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としている。また、全数調査である。

#### ウ 調査事項

人口動態調査票は、出生票、死亡票、死産票、婚姻票、離婚票の5種であり、その概要は次のとおりである。

- (ア) 出生票：出生の年月日、場所、体重、父母の氏名及び年齢等出生届に基づく事項
- (イ) 死亡票：死亡者の生年月日、住所、死亡の年月日等死亡届に基づく事項
- (ウ) 死産票：死産の年月日、場所、父母の年齢等死産届に基づく事項
- (エ) 婚姻票：夫妻の生年月、夫の住所、初婚・再婚の別等婚姻届に基づく事項
- (オ) 離婚票：夫妻の生年月、住所、離婚の種類等離婚届に基づく事項

#### エ 調査の時期

調査該当年の1月1日から同年12月31日まで

#### オ 調査の方法

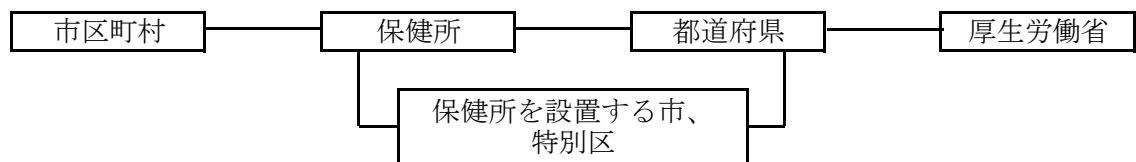
- (ア) 市区町村長は、出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出を受けたときは、その届書等に基づいて人口動態調査票を作成し、これを保健所の管轄区域によって当該保健所長に送付する。

保健所長は、市区町村長から提出された調査票を取りまとめ、毎月、都道府県知事に送付する。

この場合、保健所を設置する市の保健所長は、当該市の市長を経由する。

都道府県知事は、保健所長から提出された調査票の内容を審査し、厚生労働大臣に送付する。

- (イ) 報告の系統図



- (ウ) 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行う。

### (2) 用語の説明及び比率の解説について

ア 自然増減・・・出生数から死亡数を減じたものをいう。

イ 乳児死亡・・・生後1年未満の死亡をいう。

ウ 新生児死亡・・・生後4週未満の死亡をいう。

エ 早期新生児死亡・・・生後1週未満の死亡をいう。

オ 死産・・・妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産をいい、死児とは、出産後において心臓搏動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないものをいう。

\* 自然死産と人工死産

人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置（胎児又は付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。

なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。

(ア) 胎児を出生させることを目的とした場合

(イ) 母体内の胎児が生死不明か、又は死亡している場合

カ 周産期死亡・・・妊娠満22週（154日）以後の死産に早期新生児死亡を加えたものをいう。

キ 出生・死亡・婚姻・離婚率

(年間事件数÷10月1日現在人口)×1,000

ク 自然増加率

{(年間出生数－年間死亡数)÷10月1日現在人口}×1,000

ケ 死産率

{年間死産数÷(年間出生数＋年間死産数)}×1,000

コ 乳児死亡・新生児死亡・早期新生児死亡率

(年間死亡数÷年間出生数)×1,000

サ 周産期死亡率

{年間周産期死亡数÷(年間出生数＋年間妊娠満22週以後の死産数)}×1,000

シ 合計特殊出生率

合計特殊出生率とは、15歳～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子供の数に相当する。

[年齢別出生数(5歳階級別)÷年齢別女子人口(5歳階級別)]の総和(15～49歳までの7階級)×5

(3) 結果の公表などについて

おおむね、毎年9月上旬ごろに前年の人口動態調査の確定数が公表される。詳細については、厚生労働省のホームページを参照のこと。

(参) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>

また、毎年10月上旬ごろ、保健所活動概況作成目的での人口動態調査票情報が提供される。これを受けて、管内死因別死亡者数などを作成、公表する。

なお、保健所活動概況の公表時期は毎年8月ごろを目処としているため、確定数の公表は、当保健所ホームページ上で行う予定である。

(4) 人口動態統計の概要

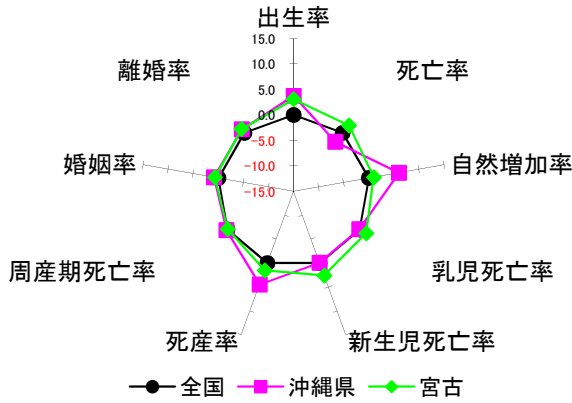
\* 人口動態については前年の数値を計上。確定値は宮古保健所ホームページにて公表予定。

平成28年

項目	実数(人、組)			率(%)			沖縄県 全国順位
	全国	沖縄県	宮古	全国	沖縄県	宮古	
出生	976,978	16,617	564	7.8	11.6	10.9	1位
死亡	1,307,748	11,706	646	10.5	8.2	12.4	47位
自然増減	-330,770	4,911	-82	-2.6	3.4	-1.6	-
乳児(生後1年未満)死亡	1,928	31	2	2.0	1.9	3.5	33位
新生児(生後4週未満)死亡	874	14	2	0.9	0.8	3.5	27位
死産	20,934	434	13	21.0	25.5	22.5	3位
自然死産	10,067	213	3	10.1	12.5	5.2	-
人工死産	10,867	221	10	10.9	13.0	17.3	-
周産期死亡	3,516	63	2	3.6	3.8	3.5	15位
妊娠満22週以後の死産	2,840	52	0	2.9	3.1	-	-
早期新生児死亡	676	11	2	0.7	0.7	-	-
婚姻	620,531	8,464	296	5.0	5.9	5.7	2位
離婚	216,798	3,700	139	1.7	2.6	2.7	1位

(出典) 平成28年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(H29.9月公表)

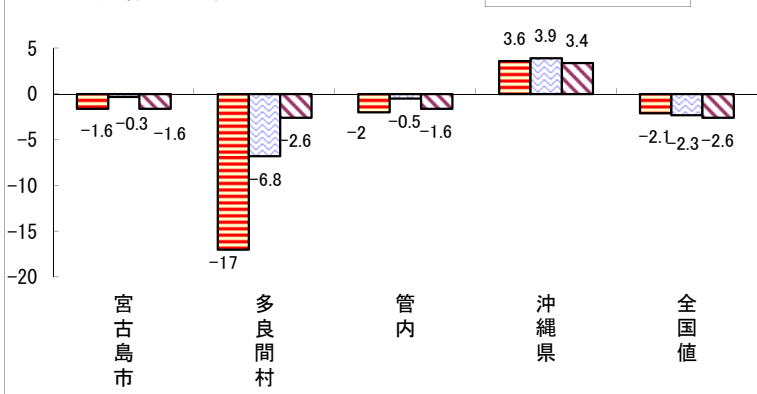
図1. 人口動態レーダーチャート(平成28年)



人口動態統計で使用される主な指標を用いて、全国を基準として沖縄県及び宮古管内の値がどの位置にあるのかを示している。

宮古管内の死亡率は全国、全県と比較して人口の高齢化を反映して高い。乳児死亡率及び周産期死亡率は、全国より低い。

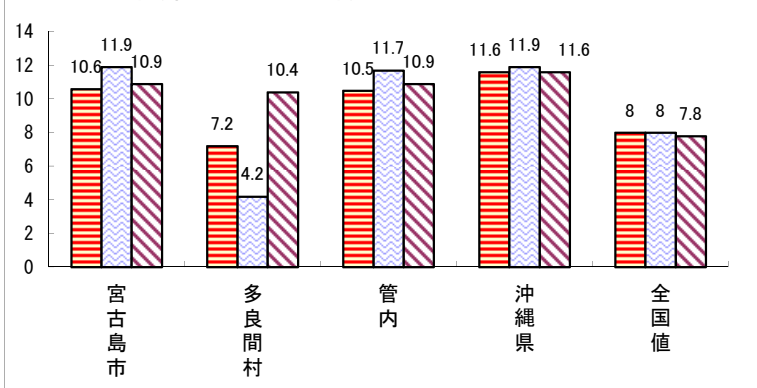
図2. 自然増加率(市村別・過去3年)



自然増加率の動向

管内は、増加傾向にある沖縄県と対照的に年々減少傾向ある。平成26年・27年・28年と続けて減少している。

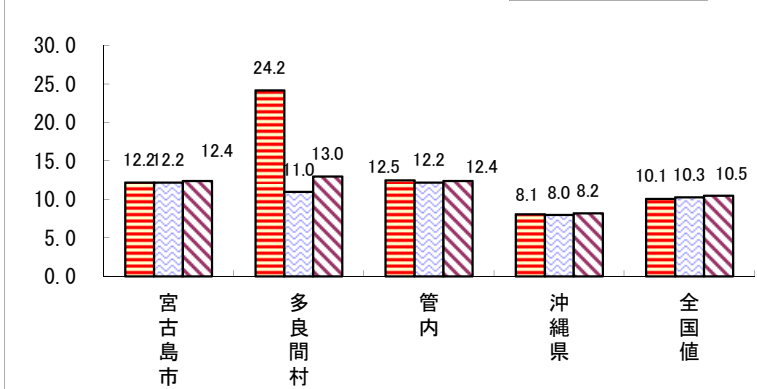
図3. 出生率(市村別・過去3年)



出生率の動向

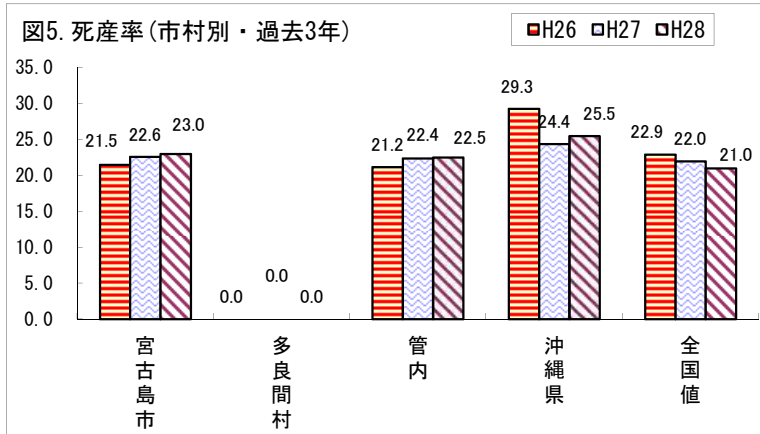
管内出生率は、沖縄県と比べると若干低い。全国値を大きく上回っている。全国値は、H28年度に若干減少している。

図4. 死亡率(市村別・過去3年)



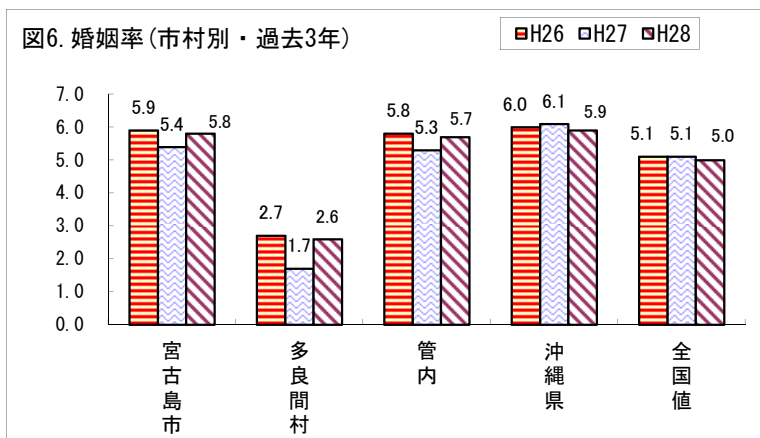
死亡率の動向

管内の死亡率は、全国値及び沖縄県と比較すると人口の高齢化を反映して、高い数値となっている。全国値は平成26年以降若干の増加傾向にある。



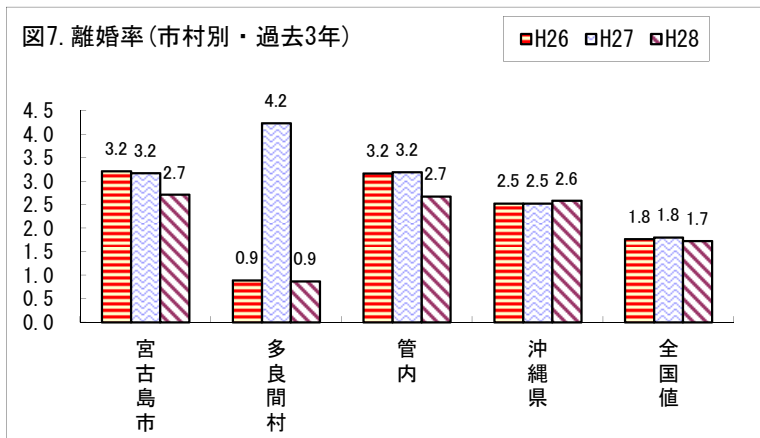
### 死産率の動向

管内の数値は、平成26年以降の県の数値を下回っているが若干増加している。全国値については、平成26年以降減少傾向にある。



### 婚姻率の動向

管内の数値は、平成26年と比較すると減少しているが、平成26年以降は、管内・県ともに全国値を上回っている。



### 離婚率の動向

管内離婚率は平成28年に減少してはいるものの、全国値よりも高い数値となっている。

(5) 平成28年人口動態総覧(市村別)

\* 人口動態については前年の数値を計上。確定値は宮古保健所ホームページにて公表予定。

ア 人口動態総覧

単位：人、件

項目 市村	出生児数			(再掲) 低体重児数(*)			死亡者数			(再掲) 乳児 死亡者数			(再掲) 新生児 死亡者数			死産胎数			周産期 死亡数			婚姻 件数	離婚 件数
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	自然	人工	計	後期	早期	計		
	宮古島市	288	264	552	25	31	56	340	291	631	0	2	2	0	2	2	3	10	13	0	2		
多良間村	9	3	12	1	0	1	12	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
管内	297	267	564	26	31	57	352	294	646	0	2	2	0	2	2	3	10	13	0	2	2	296	139

\* 低体重児数については、確定値の公表がないため概数値で計上している。

- 低体重児：2,500g未満の出生児
- 乳児死亡：生後1年未満の死亡
- 新生児死亡：生後4週未満の死亡
- 死産：妊娠満12週以後の死児の出産
- 周産期死亡 後期：妊娠22週以後の死産
- 周産期死亡 早期：生後1週間未満の死亡

(出典)平成28年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(H29.9月公表)

イ 人口動態総覧(率)

単位：‰

項目 市村	出生率	死亡率	(再掲)		死産率	周産期 死亡率	婚姻率	離婚率	
			乳児死亡率	新生児死亡率					
宮古島市	H27年	11.9	12.2	-	-	22.6	-	5.4	3.2
	H28年	10.9	12.4	3.6	3.6	23.0	3.6	5.8	2.7
多良間村	H27年	4.2	11.0	-	-	-	-	1.7	4.2
	H28年	10.4	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.9
管内	H27年	11.7	12.2	-	-	22.4	-	5.3	3.2
	H28年	10.9	12.4	3.5	3.5	22.5	3.5	5.7	2.7

(出典)平成28年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(H29.9月公表)

(6) 管内合計特殊出生率(平成18~28年)

\* 人口動態については前年の数値を計上。確定値は宮古保健所ホームページにて公表予定。

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
宮古管内	2.06	2.18	2.05	2.24	2.28	2.42	2.16	2.11	2.57	2.32
沖縄県	1.75	1.78	1.79	1.87	1.86	1.90	1.94	1.86	1.96	1.96
全国	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44

(出典)①沖縄県及び全国：平成28年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(H29.9月公表)

②管内：未公表のため、当保健所において算出した。

※合計特殊出生率とは、15歳~49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子供の数に相当する。

計算式：〔年齢別出生数(5歳階級別)÷年齢別女子人口(5歳階級別)〕の総和(15~49歳までの7階級)×5

※年齢別出生数(5歳階級別)については、平成28年人口動態調査結果(確定数)出生表5-1-47「出生数,性・母の年齢(5歳階級)・都道府県・保健所別」(厚労省HP参照)を参照した。

※平成17年~平成21年の基準女子人口は平成17年の国勢調査資料を、平成22~平成26年の基準女子人口は平成22年の国勢調査資料を、平成27年以降の基準女子人口は平成27年の国勢調査資料を参照した。

(7) 人口動態総覧の年次推移(管内分)

\* 人口動態については前年の数値を計上。確定値は宮古保健所ホームページにて公表予定。

単位：人、組

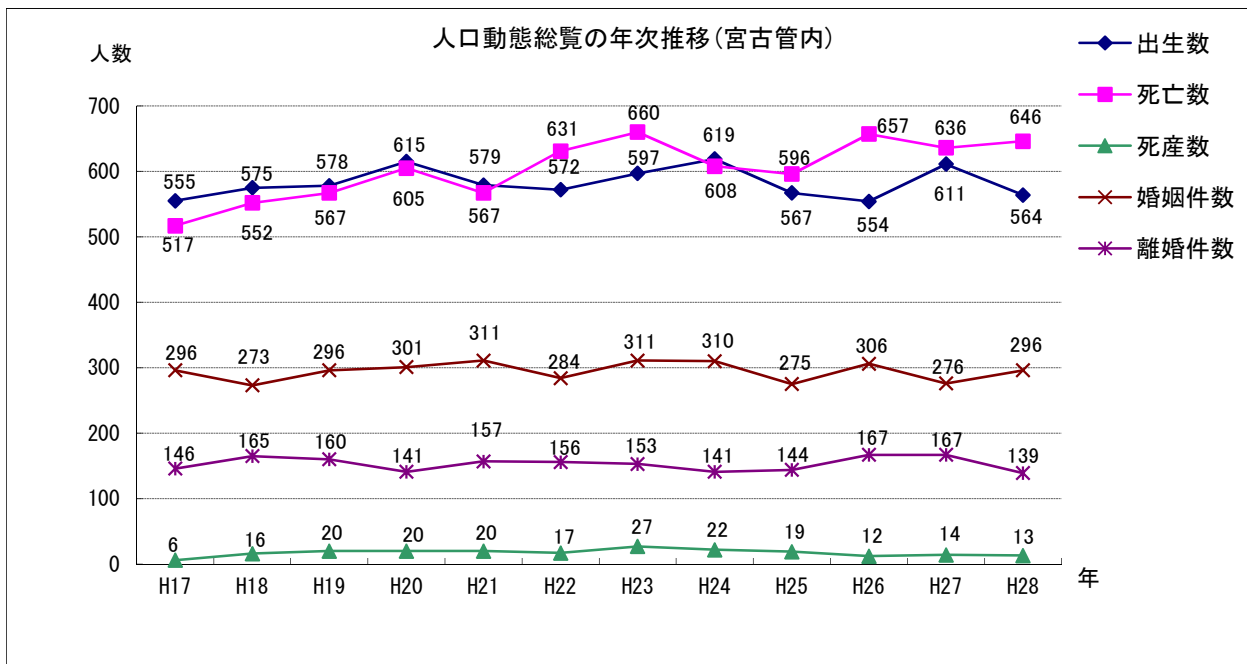
	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	対前 年比
管内人口	55,186	<b>55,187</b>	54,021	53,626	53,478	53,452	53,209	53,122	53,036	52,732	52,441	52,164	-277
出生数	555	575	578	615	579	572	597	<b>619</b>	567	554	611	564	-47
男	280	288	309	304	295	310	305	300	293	300	<b>314</b>	297	-17
女	275	287	269	311	284	262	292	<b>319</b>	274	254	297	267	-30
死亡者数	517	552	567	605	567	631	<b>660</b>	608	596	657	636	646	10
男	297	275	292	328	323	343	346	329	322	341	323	<b>352</b>	29
女	220	277	275	277	294	288	314	279	274	<b>316</b>	313	294	-19
乳児 死亡者数	<b>6</b>	2	1	1	1	5	1	2	0	1	0	2	2
男	<b>4</b>	0	1	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0
女	<b>2</b>	<b>2</b>	0	1	1	<b>2</b>	1	1	0	1	0	<b>2</b>	2
新生児 死亡者数	<b>5</b>	1	1	0	1	3	1	1	0	0	0	2	2
男	<b>4</b>	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
女	<b>1</b>	<b>1</b>	0	0	0	1	<b>1</b>	<b>1</b>	0	0	0	2	2
死産胎数	6	16	20	20	20	17	<b>27</b>	22	19	12	14	13	-1
自然	1	9	<b>12</b>	10	11	8	8	8	4	4	2	3	1
人工	5	7	8	10	7	9	<b>19</b>	14	15	8	12	10	-2
周産期 死亡数	2	2	2	2	<b>5</b>	<b>5</b>	2	4	1	1	0	2	2
後期	0	2	2	2	<b>5</b>	3	2	4	1	1	0	0	0
早期	<b>2</b>	0	0	0	0	<b>2</b>	0	0	0	0	0	<b>2</b>	2
婚姻 件数	296	273	296	301	<b>311</b>	284	<b>311</b>	310	275	306	276	296	20
離婚 件数	146	165	160	141	157	156	153	141	144	<b>167</b>	<b>167</b>	139	-28

※太字下線付は、平成17年～平成28年までの最高値を表している。

※管内人口については、各年10月1日時点。

(出典)①管内人口：沖縄県企画部統計課HP「沖縄県統計資料WEBサイト」

②その他：平成28年沖縄県人口動態統計(確定数)の概況(H29.9月公表)





(8) 死亡の状況

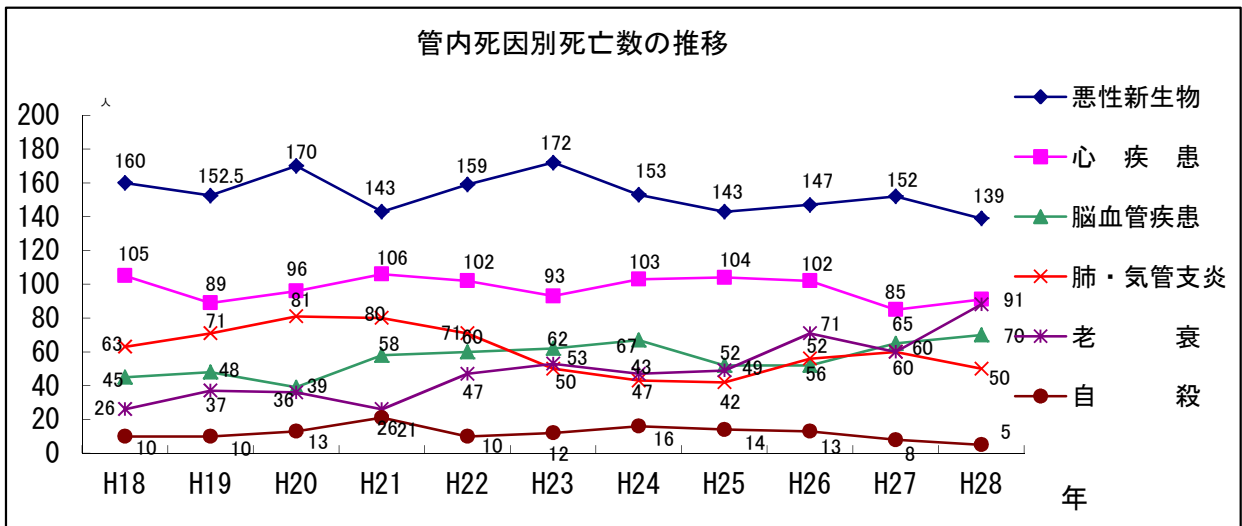
\* 人口動態については前年の数値を計上。確定値は宮古保健所ホームページにて公表予定。

ア 死亡者数(死因別、市村別) 平成28年

死 因	総数	宮古島市	多良間村
結 核	1	1	0
悪性新生物	139	136	3
糖 尿 病	7	7	0
高血圧性疾患	7	7	0
心 疾 患	91	90	1
脳血管疾患	63	61	2
肺炎・気管支炎	50	49	1
胃・十二指腸潰瘍	2	2	0
肝 疾 患	11	10	1
腎 不 全	12	12	0
老 衰	88	87	1
不慮の事故	21	20	1
自 殺	5	5	0
そ の 他	149	144	5
合 計	646	631	15

イ 死亡者数(年代別、市村別) 平成28年

年代	総数	宮古島市	多良間村
10歳未満	2	2	0
10歳-19歳	2	2	0
20歳-29歳	1	1	0
30歳-39歳	1	1	0
40歳-49歳	8	8	0
50歳-59歳	31	29	2
60歳-69歳	69	68	1
70歳-79歳	98	95	3
80歳-89歳	227	224	3
90歳以上	207	201	6
合 計	646	631	15

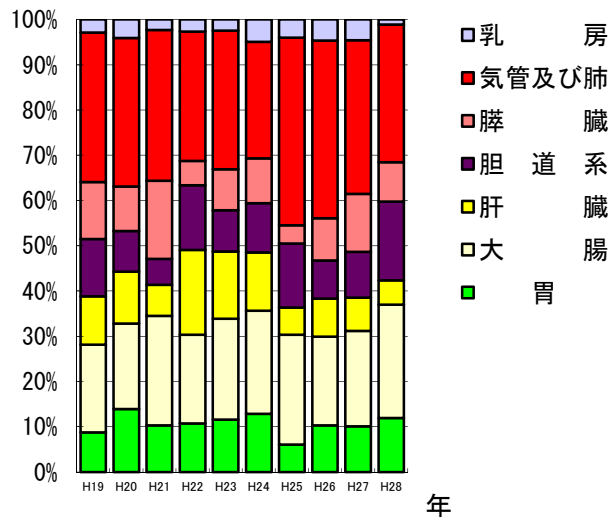


ウ 悪性新生物死亡者数

(部位別、市村別：平成27年・平成28年)

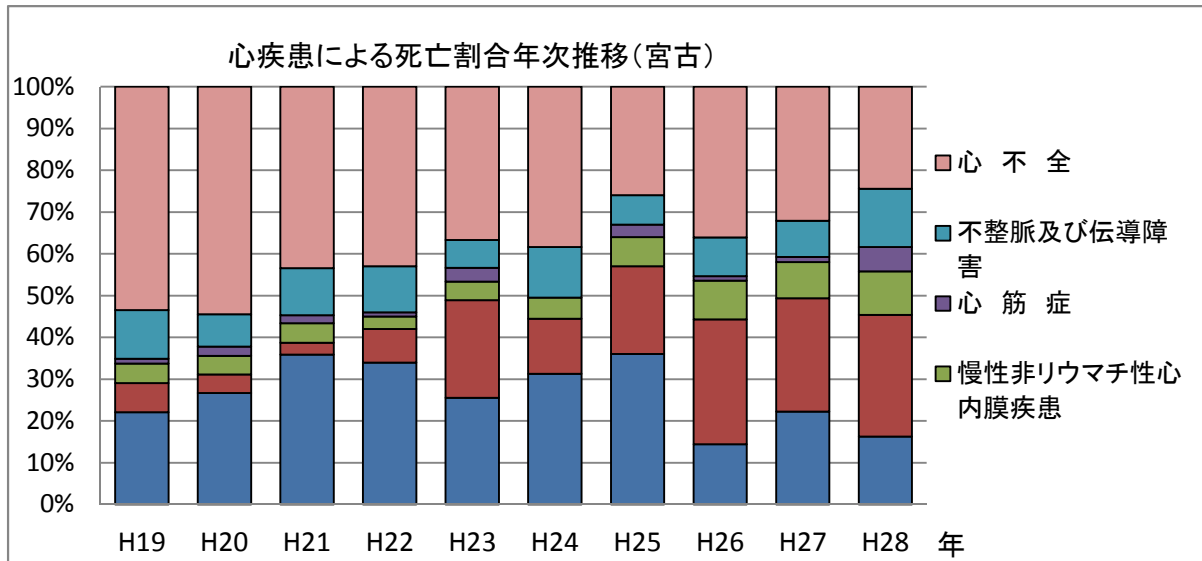
悪性新生物 部 位	総数		宮古島市		多良間村	
	H27	H28	H27	H28	H27	H28
食 道	2	6	2	5	0	1
胃	11	11	11	11	0	0
結 腸	12	16	12	16	0	0
直 腸	11	7	11	7	0	0
肝 臓	8	5	8	5	0	0
胆 道 系	11	16	10	16	1	0
膵 臓	14	8	13	8	1	0
気管及び肺	37	28	35	28	2	0
乳 房	5	1	5	1	0	0
子 宮	3	5	3	5	0	0
白 血 病	5	1	5	1	0	0
そ の 他	33	35	32	33	1	2
合 計	152	139	147	136	5	3

悪性新生物部位別死亡者割合年次推移 (管内)



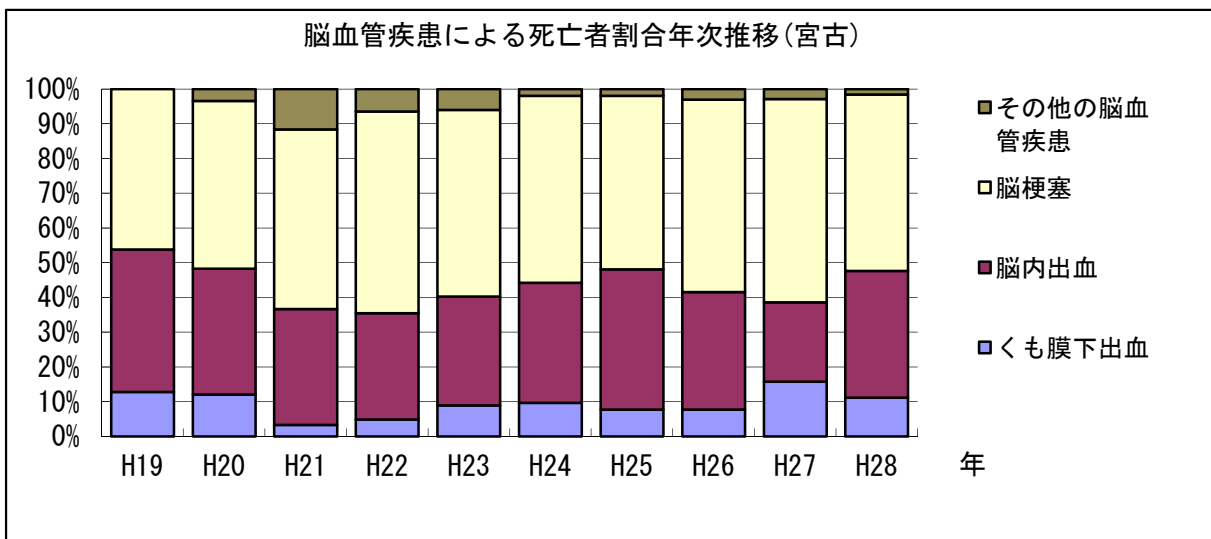
エ 心疾患による死亡者数(種別、市村別：平成27年・平成28年)

死 因	総数		宮古島市		多良間村	
	H27	H28	H27	H28	H27	H28
慢性リウマチ性心疾患	3	1	3	1	0	0
急性心筋梗塞	18	14	17	14	1	0
その他の虚血性心疾患	22	25	22	25	0	0
慢性非リウマチ性心内膜疾患	7	9	6	9	1	0
心筋症	1	5	1	4	0	1
不整脈及び伝導障害	7	12	7	12	0	0
心不全	26	21	26	21	0	0
その他の心疾患	1	4	1	4	0	0
合 計	85	91	83	90	2	1



オ 脳血管疾患による死亡者数(種別、市村別：平成27年・平成28年)

脳血管疾患 死因種別	総数		宮古島市		多良間村	
	H27	H28	H27	H28	H27	H28
くも膜下出血	11	7	11	7	0	0
脳内出血	16	23	14	22	2	1
脳梗塞	41	32	41	31	0	1
その他の脳血管疾患	2	1	2	1	0	0
合 計	70	63	68	61	2	2



## II 地域保健班業務

### 1 母子保健

#### (1) 主な母子事業の変遷

年	乳幼児健康診査及び専門健診、療育相談事業	思春期保健事業
昭和49年	乳幼児一斉健診開始 (厚生省医療技術支援)	
昭和57年		巡回療育相談開始
昭和62年	心臓検診	
平成2年	特殊健診 ・遺伝専門健診・心理相談 ・未熟児健診・アレルギー健診 ・療育相談	
平成3年		聴力、言語療育相談 (愛の小鳩事業団)
平成9年	乳幼児健診 (市町村で実施)	H8年終了
平成10年	母子保健クリニック開設	
平成12年	自閉症相談 (厚生省医療技術支援)	
平成13年		H14 巡回療育相談・訓練事業 県障害福祉課がふれあいの里へ委託 (窓口は「さぼーと」)
平成15年	遺伝相談 (県内医師)	思春期保健講演会開始 (厚生省医療技術支援)
平成16年	自閉症児の療育・相談 (コロメソッドによる)	思春期ピアエデュケーション
平成17年	H17年終了	思春期保健 ピアカウンセリング開始
平成18年		思春期保健 ピアカウンセラーの育成 思春期保健教育研究会立ち上げ (事務局:宮古福祉保健所)
平成19年	自閉症相談 県費で継続	巡回思春期相談の開始
平成20年		第1回思春期フェスティバル開催
平成21年	発達障害児等相談と改称	
平成23年		第4回思春期フェスティバル開催 保健所での事務局を終了
平成24年	H24年終了	宮古島市思春期保健教育研究会 として再発足 (事務局:宮古島市健康増進課)
平成25年	長期療養児相談	
平成26年		
平成27年	ダウン症児親の会 (乳幼児期)	
平成28年	平成28年終了 発達障害児の支援体制整備を行った	
平成29年		

### Ⅲ 健康推進班業務

#### 1 結核対策

図 1 新登録患者の罹患率年次推移

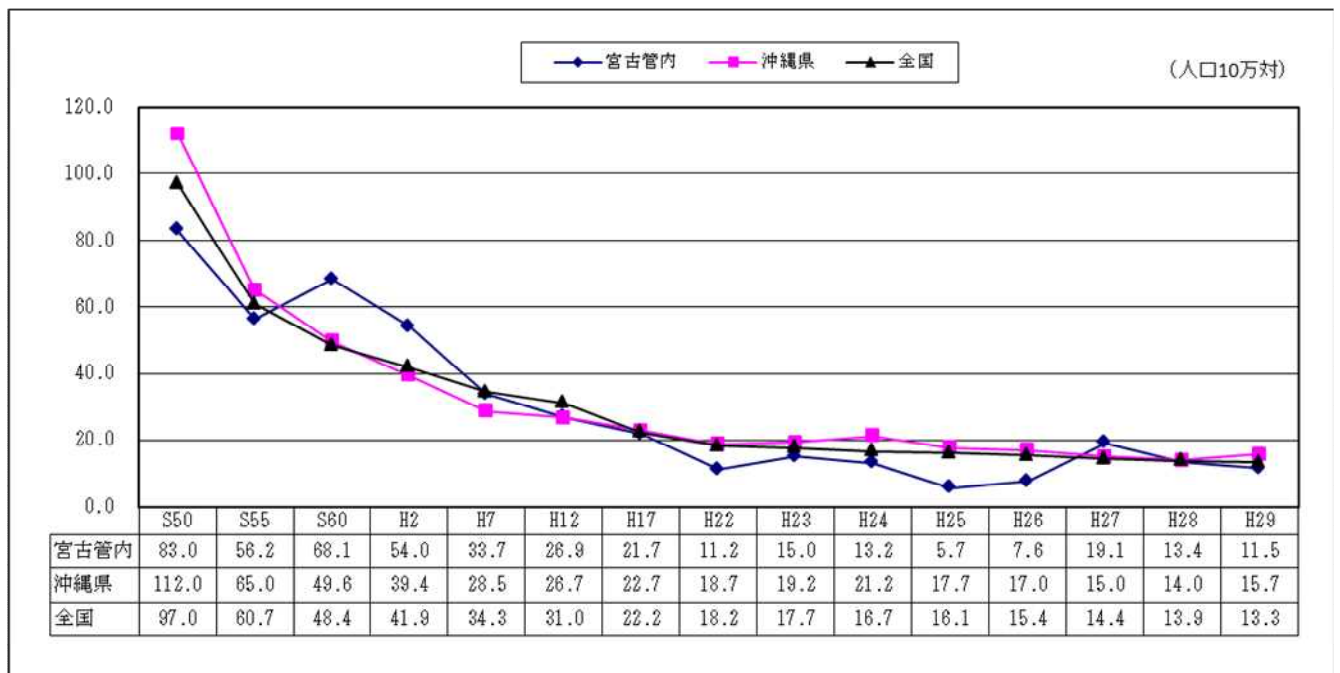


表 1 新登録患者の年齢階級別状況

平成 29 年

区分	総数	活動性肺結核				活動性肺外結核	不明	潜在性結核感染症(別掲)
		総数	感染性		菌陰性			
			喀痰塗抹陽性	その他の菌陽性				
年次別								
年齢階級別計	6	3	1	2	0	3	0	4
0～4歳	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	1
20～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0
30～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	1	1	0	1	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	1
70～79歳	2	0	0	0	0	2	0	1
80～89歳	2	2	1	0	0	1	0	1
90歳以上	1	0	0	1	0	0	0	0

図 2 新登録患者の年齢階級別状況

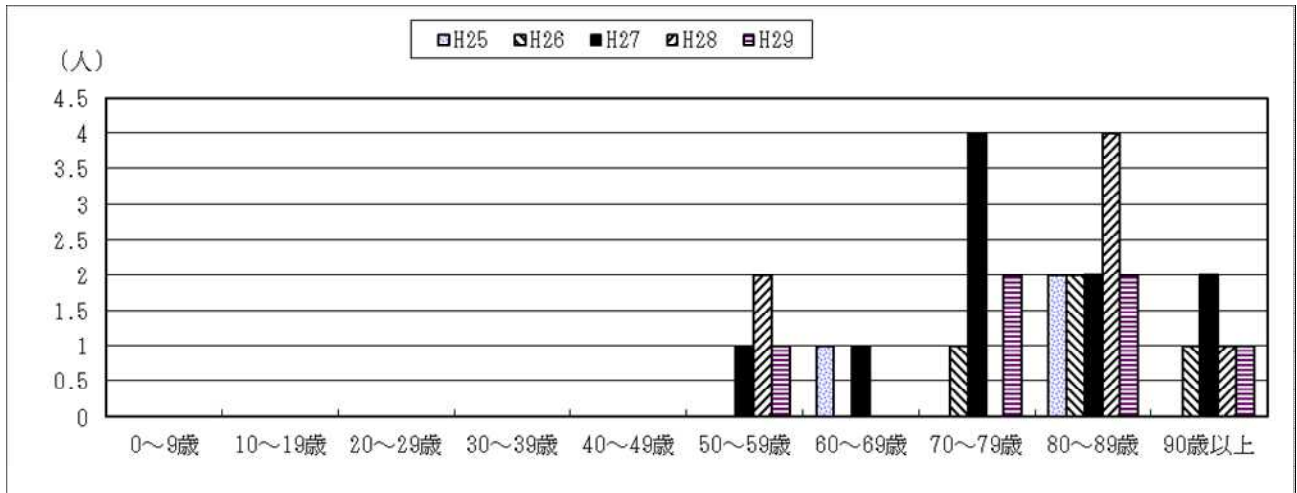


表 2 結核死亡状況

結核死亡率：‰（千分率）

	宮古管内			人口	沖縄県		全国	
	全死亡数	結核死亡数	結核死亡率		結核死亡数	結核死亡率	結核死亡数	結核死亡率
S50年	411	1	2.4	57,762	52	5.0	10,567	9.5
55年	406	2	4.9	60,464	39	3.5	6,429	5.5
60年	375	3	5.0	60,333	28	2.4	4,692	3.9
H2年	461	2	3.5	57,455	32	2.6	3,659	3.0
7年	416	1	2.4	56,248	31	2.4	3,178	2.6
12年	463	1	2.2	55,805	23	1.8	2,650	2.1
17年	517	0	0.0	55,186	17	1.2	2,295	1.8
22年	631	1	1.6	53,452	23	1.7	2,126	1.7
23年	631	3	4.8	53,209	37	2.6	2,162	1.7
24年	608	3	4.9	53,122	42	3.0	2,105	1.7
25年	596	0	0.0	53,036	27	1.9	2,084	1.7
26年	657	1	1.5	52,732	24	1.6	2,099	1.7
27年	625	1	1.6	52,441	22	1.5	1,955	1.6
28年	646	1	1.5	52,343	14	1.0	1,889	1.5

## 2 感染症対策

表 1 年次別感染症発生状況（全数報告）

類型	疾患名	H24	H25	H26	H27	H28	H29
2類	結核*	9	5	7	12	11	9
3類	腸管出血性大腸菌感染症	13	7	2	3	7	5
4類	つつが虫病	0	1	2	4	10	5
	レジオネラ症	0	0	3	1	2	2
	E型肝炎	0	0	0	0	0	1
5類 (全数報告)	ウイルス性肝炎	1	1	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	0	4	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	0	0	0	1
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	1	1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	1	0	0	2
	梅毒	0	1	0	0	1	1
	風しん**	1	2	0	0	0	0
	麻しん	0	0	0	0	0	0

\* 結核・・・結核の発生状況は潜在性結核感染症を含む。

\*\* 風しん（H24）の1件は、風しん IgM（-）

表 2 年次別感染症発生状況（定点報告）

類型	疾患名	H24	H25	H26	H27	H28	H29
5類 (定点報告)	インフルエンザ	1,607	536	1,067	1,169	1,380	1,078
	RSウイルス感染症	82	78	54	121	95	148
	咽頭結膜熱	3	43	79	48	25	42
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	7	89	59	27	77
	感染性胃腸炎	195	176	42	172	462	452
	水痘	167	136	254	44	33	56
	手足口病	72	50	26	195	125	147
	伝染性紅斑	1	1	2	0	0	1
	突発性発しん	17	24	23	25	26	30
	百日咳	2	0	0	4	1	1
	ヘルパンギーナ	0	0	10	22	10	9
	流行性耳下腺炎	5	7	7	486	343	20
	急性出血性結膜炎	0	3	0	2	0	3
	流行性角結膜炎	48	77	89	46	73	27
	細菌性髄膜炎	0	0	1	0	1	0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	157	92	7	1	31	3
	クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	124	68	111	117	121	106
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	1	0	0	0
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0			

\* 平成 26 年 9 月 19 日より、5 類全数把握疾患へ変更

表 3 定期予防接種実施状況 平成 29 年度

	DPT (ジフテリア・百日せき・破傷風) ・DT (ジフテリア・破傷風)						
	第Ⅰ期				第Ⅱ期		
	初回接種			追加接種	DT (ジフテリア・破傷風)		
	第1回	第2回	第3回				
被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数	対象者数	被接種者数	接種率	
宮古島市	0	0	0	0	538	437	81.2%
多良間村	0	0	0	0	21	11	52.4%
宮古管内	0	0	0	0	559	448	80.1%

	ポリオ				DPT-IPV (4種混合)									
	IPV (不活化)				初回接種						追加接種			
	Ⅰ期初回			Ⅰ期追加	対象者数	1回目		2回目		3回目				
	1回目	2回目	3回目			4回目	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率		
	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数		被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	0	0	3	5	526	483	91.8%	413	78.5%	344	65.4%	617	351	56.9%
多良間村	0	0	0	0	43	4	9.3%	6	14.0%	4	9.3%	6	4	66.7%
宮古管内	0	0	3	5	569	487	85.6%	419	73.6%	348	61.2%	623	355	57.0%

	MR (麻しん・風しん)						BCG (結核)		
	第1期			第2期					
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
宮古島市	615	569	92.5%	620	572	92.3%	517	444	85.9%
多良間村	19	11	57.9%	11	10	90.9%	13	5	38.5%
宮古管内	634	580	91.5%	631	582	92.2%	530	449	84.7%

	日本脳炎					インフルエンザ			
	対象者数	第1期			追加接種	第2期	65歳以上		
		初回接種		被接種者数			対象者数	被接種者数	接種率
		第1回	第2回						
宮古島市	11,464	523	503	346	181	13,693	6,284	45.9%	
多良間村	258	3	5	16	15	173	120	69.4%	
宮古管内	11,722	526	508	362	196	13,866	6,404	46.2%	

	Hib感染症									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	接種者数	接種率
		接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率			
宮古島市	529	468	88.5%	411	77.7%	357	67.5%	540	369	68.3%
多良間村	26	2	7.7%	5	19.2%	7	26.9%	10	6	60.0%
宮古管内	555	470	84.7%	416	75.0%	364	65.6%	550	375	68.2%

	小児肺炎球菌									
	対象者数	初回接種						追加接種		
		1回目		2回目		3回目		対象者数	接種者数	接種率
		接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率			
宮古島市	529	468	88.5%	411	77.7%	357	67.5%	540	374	69.3%
多良間村	40	4	10.0%	5	12.5%	5	12.5%	4	4	100.0%
宮古管内	569	472	83.0%	416	73.1%	362	63.6%	544	378	69.5%

	HPV(ヒトパピローマウイルス感染症)									
	対象者数	初回						対象者数	接種者数	接種率
		第1回		第2回		第3回				
		接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率			
宮古島市	276	0	0.0%	276	0	0.0%	276	0	0.0%	
多良間村	8	0	0.0%	8	0	0.0%	8	0	0.0%	
宮古管内	284	0	0.0%	284	0	0.0%	284	0	0.0%	

市町村名	水痘						高齢者肺炎球菌感染症		
	第1回			第2回			65歳 ※経過措置含む		
	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
宮古島市	540	382	70.7%	617	296	48.0%	897	231	25.8%
多良間村	26	10	38.5%	4	4	100.0%	12	7	58.3%
宮古管内	566	392	69.3%	621	300	48.3%	909	238	26.2%

表 4 予防接種による副反応報告等 平成 29 年度

	副反応報告	健康被害救済
宮古島市	0	0
多良間村	0	0



### 3 多目的コホート研究

#### (1) 目的

多目的コホート研究は、1990年に始まった大規模で長期にわたる観察型の疫学研究である。独立行政法人国立がん研究センターのがん研究開発費※を原資に2017年現在も追跡調査が続けられている。どのような生活習慣・環境をもつ人が、がん・脳卒中・心筋梗塞・糖尿病などになりやすいのか、あるいはなりにくいのかを明らかにすることを目的としている。

※2009年までは厚生労働省がん研究助成金による

#### (2) 対象（コホートⅡ：1993年研究開始）

1993年に、旧平良市及び旧城辺町に在住する40歳以上70歳未満の方（大正12年1月1日から昭和27年12月31日に生まれた方）14,109名を対象に、市町村の住民基本台帳より抽出した。

#### (3) 内容

独立行政法人国立がん研究センターがん研究事業を実施するため、宮古保健所長が分担研究者となり、宮古地域の住民調査を実施している。現在の主な業務としては、コホート対象者の異動情報処理、死亡情報処理、がん登録処理、その他関連業務を実施している。

#### (4) 宮古地域の疾病罹患および死亡状況

図3 がん罹患(1993年-2016年)

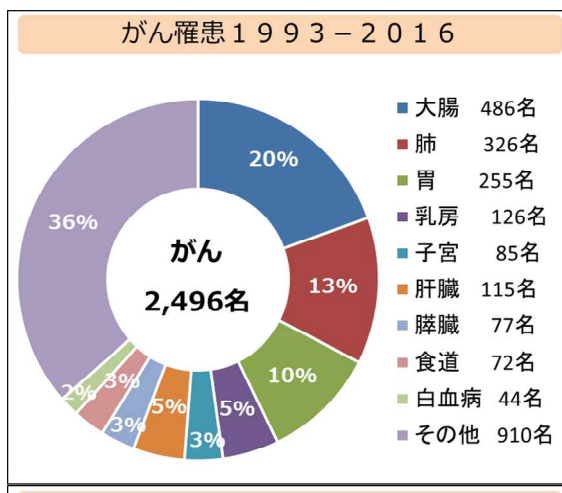
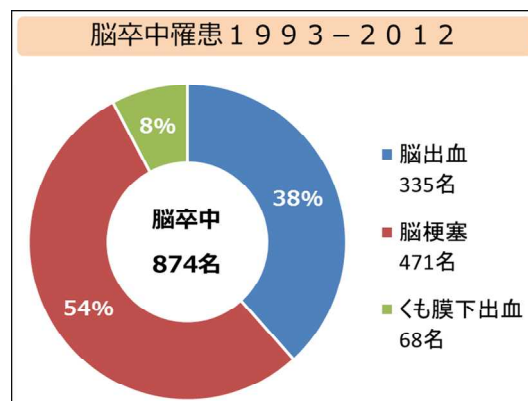
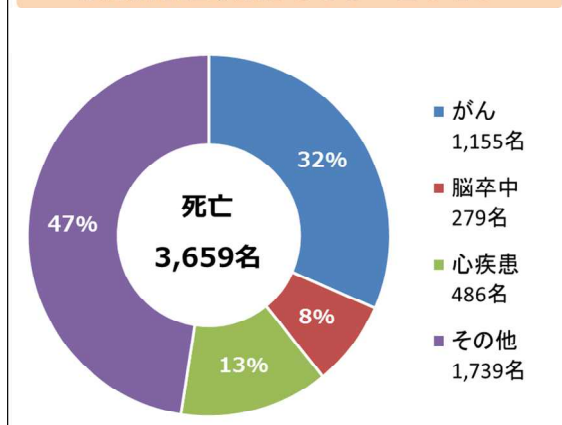


図4 脳卒中罹患(1993年-2012年)



疾患別死亡状況 1993 - 2015



## IV 生活環境班業務

### 1 血液関係

赤十字血液センターによる献血事業が年に2回実施されており、高校生を対象とした献血も年1回実施されている。

表1 地区別 献血実績（平成25～29年度）

（単位：人）

	年度	予定人員	受付者数	不適格者数	献血の種類				予定人員に対する献血者の割合 (%)
					200mL	400mL	成分	合計	
平良地区	平成25年度	1,325	1,391	342	47	1,002	0	1,049	79.2
	平成26年度	1,060	1,417	277	38	1,102	0	1,140	107.5
	平成27年度	1,160	1,529	327	11	1,191	0	1,202	103.6
	平成28年度	1,215	1,536	327	15	1,194	0	1,209	99.5
	平成29年度	1,325	1,575	268	14	1,293	0	1,307	98.6
城辺地区	平成25年度	140	141	28	1	112	0	113	80.7
	平成26年度	140	141	28	1	112	0	113	80.7
	平成27年度	95	86	13	0	73	0	73	76.8
	平成28年度	80	92	13	2	77	0	79	98.8
	平成29年度	40	44	5	0	39	0	39	97.5
下地地区	平成25年度	95	83	12	0	71	0	71	74.7
	平成26年度	75	83	9	1	73	0	74	98.7
	平成27年度	100	92	12	0	80	0	80	80.0
	平成28年度	65	62	12	0	50	0	50	76.9
	平成29年度	20	13	1	0	12	0	12	60.0
上野地区	平成25年度	90	92	17	5	70	0	75	83.3
	平成26年度	125	115	16	1	98	0	99	79.2
	平成27年度	145	148	17	0	131	0	131	90.3
	平成28年度	120	164	17	1	146	0	147	122.5
	平成29年度	125	137	17	1	119	0	120	96.0
伊良部地区	平成25年度	95	94	8	5	81	0	86	90.5
	平成26年度	85	71	9	1	61	0	62	72.9
	平成27年度	65	73	18	0	55	0	55	84.6
	平成28年度	50	59	18	3	38	0	41	82.0
	平成29年度	40	28	6	0	22	0	22	55.0

※多良間村は未実施（平成25～29年度）

表2 高等学校別 献血実績（平成25～29年度）

（単位：本）

	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計	200mL	400mL	小計
伊良部高等学校	1	8	9	1	21	22	0	23	23	3	12	15	0	11	11
宮古高等学校	3	39	42	5	40	45	3	57	60	0	65	65	7	51	58
宮古総合実業高校	2	13	15	-	-	0	-	-	-	0	27	27	2	42	44
宮古工業高等学校	3	29	32	2	39	41	0	26	26	1	2	3	1	25	26
合計	9	89	98	8	100	108	3	106	109	4	106	110	10	129	139

資料：沖縄県赤十字血液センター

## V 学生実習

NO	実習生所属	実習期間	時間	学生数	実習目的
1	沖縄県立看護大学 (4年次)	前期：平成29年9月25日	8	2	沖縄県における衛生行政の中核を担う保健所の機能、役割を学ぶ
		後期：平成29年10月16日	8	3	

## VI 受入研修

NO	研修名（委託先）	実習期間	時間	研修生数	実習目的
1	県立宮古病院 臨床研修医 (地域保健・医療研修)	H29. 7. 21 H29. 8. 18 H29. 9. 22 H29. 10. 18 H29. 11. 17 H29. 12. 18 H30. 1. 24	56	19	宮古保健所の地域における保健活動の意義、重要性、問題点などを理解する。
4	JICA研修員 課題別研修「地域保健システム強化による感染症対策」	H29. 10. 19	6	12	開発途上国における感染症対策上の課題を解決するための知識、技術等を研修員に提供することを目的とする。
5	JICA研修員 課題別研修「公衆衛生活動による母子保健強化」	H29. 11. 14	2	9	開発途上国における母子保健対策上の課題を解決するための知識、技術、ヒントを研修員に提供することを目的とする。

## VII 研修・講習

NO	実施月日	研修・講習名	場 所	受講対象者	開催回数	研修・講習講師	担 当 班
1	H29. 4. 17	第33回全日本トリアスロン宮古島大会食料部衛生講習会	宮古島市総合体育館	第33回全日本トリアスロン宮古島大会弁当・オーダブル製造業者	1	生活環境班技師	生活環境班
2	H29. 4. 19	第33回全日本トリアスロン宮古島大会A・Sボランティア責任者講習会	宮古島市総合体育館	第33回全日本トリアスロン宮古島大会A・Sボランティア責任者	1	生活環境班技師	生活環境班
3	H29. 6. 20	観光業に関わる方に知っておいてほしい感染症について	沖縄県宮古合同庁舎 講堂	平成29年度インバウンド連絡会（宮古圏域）参加事業者	1	健康推進班事務	健康推進班
4	H29. 7. 14	「オリオンビアフェスト2017in宮古」テナント説明会	JTAドーム会議室	オリオンビアフェスト出店予定業者	1	生活環境班技師	生活環境班
6	H29. 8. 16 H30. 1. 24	食品衛生責任者養成講習会	宮古保健所2階大会議室	食品衛生責任者養成希望者	2	生活環境班技師	生活環境班
7	H29. 8. 27	宮古地区保育士研修会		保育士	1	健康推進班 歯科衛生士	健康推進班
8	H29. 9. 7	労働者の健康づくり研修会「お酒と上手に付き合いおう」	宮古島市中央公民館	労働衛生大会の参加者	1	健康推進班 保健師	健康推進班
9	H29. 11. 1	食品表示講習会	宮古島市中央公民館	食品取扱業者	1	生活環境班 健康推進班 技師	生活環境班
10	H30. 2. 20	衛生管理講習会	働く女性の家	美容師	1	健康推進班 保健師	健康推進班
11	H29. 2. 22	水環境保全における保健所の役割	宮古保健所2階大会議室	JICA課題別研修生（NPO法人おきなわ環境クラブ随伴）	1	生活環境班 班長	生活環境班
12	H30. 3. 13	介護保険施設集団指導「エイズのイメージを変えよう」	宮古島市中央公民館	介護事業者	1	健康推進班 班長	健康推進班

---

---

平成 29 年度  
宮古保健所活動概況

印 刷 年 月 平成 30 年 11 月  
発 行 年 月 平成 30 年 12 月  
編 集 発 行 沖縄県保健医療部 宮古保健所  
沖縄県宮古島市平良字東仲宗根 4 7 6 番地  
電話 (0 9 8 0) - 7 2 - 2 4 2 0  
印 刷 ぐしけん印刷  
沖縄県宮古島市平良字西里 1 3 0 7 番地 6  
電話 (0 9 8 0) - 7 3 - 3 1 5 8

---

---